

《担当者名》○八木こずえ [co-yagi@hoku-iryo-u.ac.jp]
 宮地 普子 [miyajih@hoku-iryo-u.ac.jp]
 中安 隆志 [nakayasu@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

精神病院や地域の諸施設において、特論や演習で学んだ精神力動論やその他の実践モデルを活用し、指導教員や実習指導者のスーパーバイズを受けながら直接的看護ケアに関する実習を行い、看護の質の向上に資する考察や研究に結びつく視点を獲得する。

【学修目標】

疾病の臨床像や生きにくさなど、患者の全体像を包括的にアセスメントし、看護実践に発展的变化をもたらすためのケアの視点を考察できる。得られたケアの視点からの実践と評価ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題	看護援助の諸枠組みを活用し、統合失調症急性期または慢性期のケアを実践、評価する。	八木 宮地 中安
	実習方法	1) 学生は直接的看護ケアに関する実習計画書を提出する。 2) 学生は、実習目標や倫理的配慮を十分認識した上で実習に入る。 3) 実習計画書をもとに、実習施設指導者、担当教員との打ち合わせに参加し、十分な協議を行う。 4) 活用したモデルや実践経過、ならびに評価をケースレポートとして作成する。また、実習の過程で直面した諸問題について、問題の本質や解決へ向けての具体的な方法等について考察し、レポートを作成する。	
	実習場所	精神病院、または地域の諸施設	
	実習期間	期間は概ね4週間とするが、直接的看護ケアは患者の状況に左右されるため、一定の評価が可能な期間とする。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表（40%）、実習レポート（60%）により評価する。

【学修の準備】

実践能力を高めるための自己課題を明確にし、実習計画に反映させること